

文部科学省「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」  
ユースケース創出課題「マルチスピーズ霊長類脳画像の知識型データ共有  
エコシステムの構築:データ駆動型脳科学を推進する共創型国際研究基盤」

データ駆動型脳科学の共創：  
脳イメージング研究のための

オンライン対話型オープンセミナー（全6回）

オープンサイエンス時代の

# 脳イメージング研究

## Vol.1 Atlas:種類と意義

令和6年

講師

大石 健一

ジョンズ・ホプキンス大学医学部放射線科 教授

1.27 ±  
10:00 - 11:00

神戸大学医学部卒業。同大学医学部博士課程修了（医学博士）。05年神戸大学医学部神経内科助手。06年からジョンズ・ホプキンス大学 医学部放射線科に着任。23年同大学医学部放射線科教授。MRIと神経情報学を専門する。脳アトラス開発や神経関連疾患の研究において、高度なイメージング技術とAIを用いた臨床データ解析により、精密医療の新境地を切り開いている。



座長 酒井 朋子（慶應義塾大学医学部生理学教室）、岡田 知久（京都大学大学院医学研究科・脳機能総合研究センター）

現代の科学技術の進歩を概観すると、社会的な挑戦への対処は、異なる専門分野や国境を越えた「共創」によって進められています。オープンサイエンスとデータ駆動科学の発展は、既存の枠組みを超えて、新たな科学的地平と社会的変容を推し進めています。

本セミナーは脳イメージング研究のデータ駆動型アプローチに光を当て、脳科学の洗練された知識創出の旅路を描きます。ジョンズ・ホプキンス大学の大石健一教授を迎え、ヒトと非ヒト霊長類の最先端の脳画像撮像技術、計算解剖学的手法、AIを活用した脳画像解析技術、自動脳画像セグメンテーション技術、オントロジー技術を駆使した知識型脳画像データベース構築に至るまでの豊かな知識を、参加者との対話を通じて探求します。これにより、脳科学における新しい理解と発見へと導く、知的探究の場を提供することを目的としています。

参加費無料  
登録URL

<https://forms.gle/7LM1RCq6ac9W9s3DA>

Zoom 情報等については、1月24日（水）に別途ご案内いたします。  
できる限り、前日までにご登録ください。  
2部以降からのご参加も歓迎いたします。  
お問合せ先 [info@primatebrain.jp](mailto:info@primatebrain.jp)



登録QRコード

なお、このフォームにより収集した情報は、本セミナーの実施に関わるご連絡にのみ使用します。他の用途では一切使用致しません。

全6部（隔週土曜日）で開催予定

1月27日 1部: Atlas: 種類と意義  
2月10日 2部: Database: 作成と利用  
2月24日 3部: Prediction: 発達と変性  
3月 9日 4部: Ex vivo: 観察と計測  
3月23日 5部: 7T: 組織と生体  
3月下旬 6部: (計画中)